



R-18
ADULT
ONLY

聖心女子学院の

新米女子

聖二星七璃女学院

ふたほしななり

深い森の中、高い塀が覆う
美しい異国の洋館を
学舎に用いた
名門全寮制女学校

家柄、容姿：
全てを品評され

許された
特別な少女のみが
立ち入ることを許された
乙女の花園である

上品な丈の
制服に身を包み

小鳥のようにさえずる
乙女たちの中で

最も高い位置に
咲く花

ごきげんよう…

ごきげんよう
蘭子お姉さま！

成績優秀
品行方正
眉目秀麗

ハラ

首席生徒
小糸色

蘭子

——ではない

無理無理無理
怖い怖い怖い
たい帰りたい



いつから
蘭子と
話さなく
なった
んだろう



くっさ...
相変わらず
最悪な部屋...

双子の妹
蘭子は
同じ顔の
出来損ない
である私を



凜子
あんた
精子くさいのよ

軽蔑
していた

良いご身分よね
アンタが寝てる間

私がどれだけ
机に向かって
いるかわかる？



…来月から私
二星七環学院
超名門学校に行くの

娘が通うだけで
家の格が上がる
レベルのね
恥ずかしい
身内の存在なんて
ありえないの

だから
アンタと顔を
合わせるのも
多分これが最後ね

じゃあね

両親は
両性具有を
奇異の目で
見た

蘭子は
普通の女の子なのに…

どうして
凜子は…

蘭子は優秀で
勉強も運動も
常に一番

両親から私の扱いを
学ぶのも早かった

凜子
私と蘭子が
同じなのは顔だけ

彼女は
私にないもの
全てを持っていた

ゴミだめの中に
私をおいて
輝かしい道へ
去って行った彼女は

学園でも
完璧な成績を
維持し続け

ある日
失踪した

来い！
お前も少しは
役に立ってみせろ！

な…なにっ…!?

蘭子がいるからと
甘やかしすぎた

蘭子が逃げたなんて
あってはならない…!!

二星の首席だったんだぞ!?
どれほどの事かわかるか!?

おお…
見た目は
そっくりだ…

いいか
とにかく蘭子が戻るまで
偽り続けるんだ!!

蘭子の偽物くらい
つとめてみせろ!

たろ

たろ

たろ

ハッ

そして
最低限の知識と
振舞いを叩きこまれ
私は学院に送られた

蘭子が逃げた
ような場所……
私が耐えられる
わけがないのに……!!

ごきげんよう
蘭子くん

なんか……
キラキラした人……

おや?
なんだか
顔色が良くないね……

少し
熱いんじゃないか?

アホ……

ひよえっ

生徒会長
ひかりのいん
光乃院
鈴蘭
すずらん

近い近い近いっ

このひと
すぐくっついてくる……!!

顔も赤いね

蘭子お姉様と鈴蘭お姉様……
オーキッドの姫君よ
素敵……!!



白百合ちゃんたちも遅刻しないようにね

…じゃあね、蘭子君無理はしないように



そんなに照れることないだろう？

僕と蘭子君の仲なのに…♡



きゃっ

きゃっ

白百合ちゃん…？

おかし…？

どんな仲…？
女子校だと普通ってコト…？

きゃっ

きゃっ



当然服装はレオタードである

ぽんぽん

キュッ

いし…♡

キュッ♡



更衣室

二星七璃学院では
体育の授業で
バレエを修める

白タイツ

無理ッ

絶対無理
こんなのっ

バレエって
こんなカッコ
するの…!?



女の子たちの
生着替えに
囲まれて…



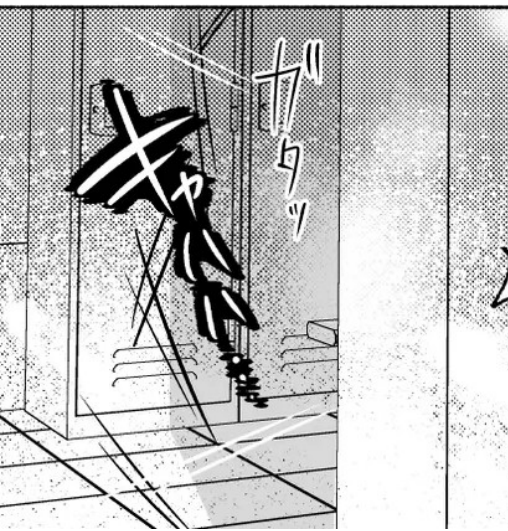
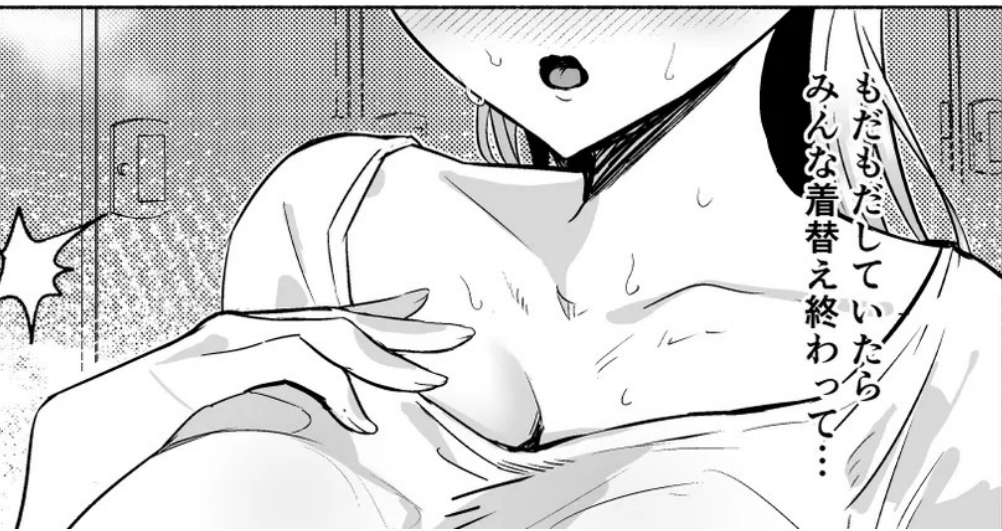
とんでもなく
勃起してる…

どうしよう
一回こっそり抜いて…
ああでもどうせ
授業中女の子たちが
レオタードで足開く
ところをずっと
見てるわけで
結局勃起してくるに
決まってるし
ていうか女子トイレとかで
精子出すこと考えてたら
余計硬くなってきたし

みなさんご存じの通り
ふたなりの多くは凄まじい
性欲と精力に悩まされる



もだもだしていたら
みんな着替え終わって…





：戸佐さん成績いいからってサボりはダメよ

キャー!!
ちやんとそれで踊りなさいよ

レオタードが…
こう…すごく悪質に切られてる…

私たちと違ってバレエなんてやる必要ないってこと?!

特待生
戸佐
みずき

これ…
いじめ…?



あ…

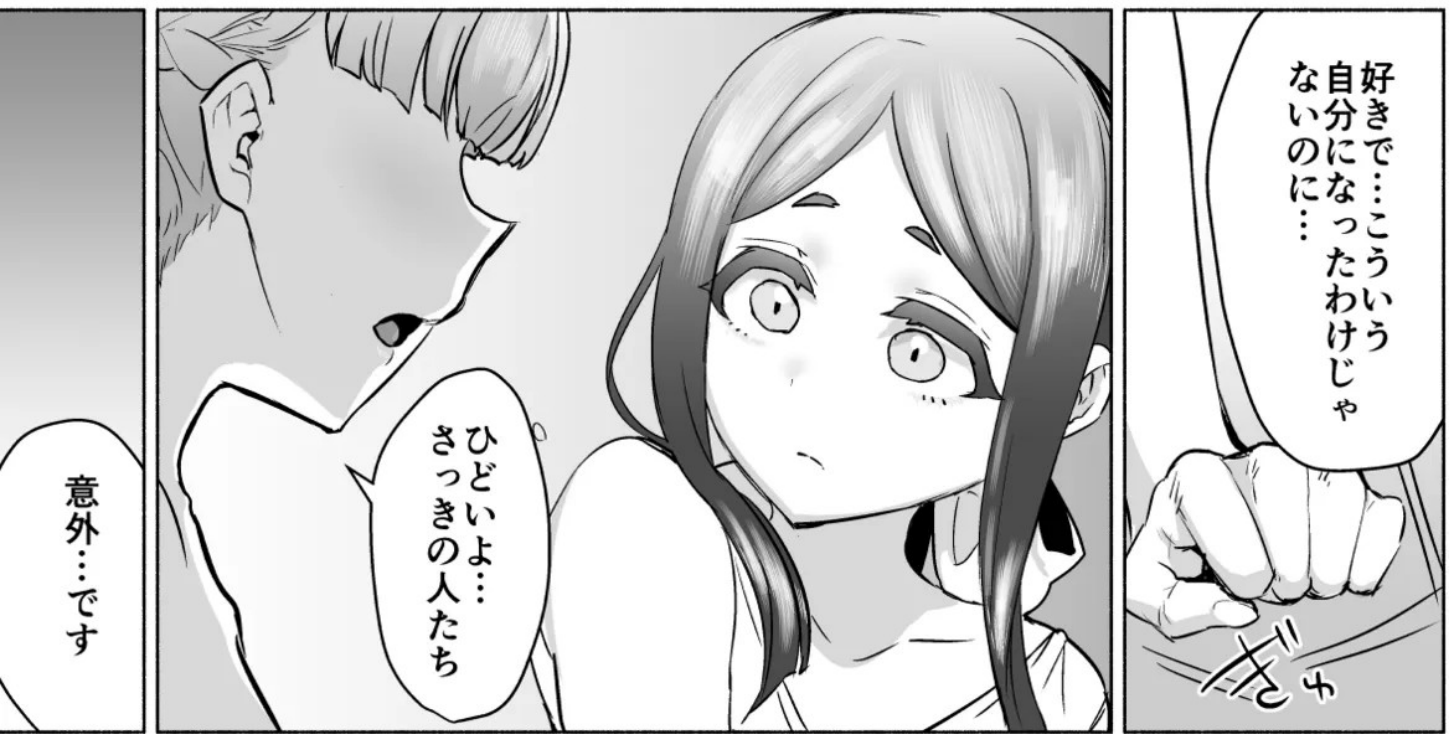
あの!!
なにしてる…んですか

ら
蘭子お姉様…!!

これは…
違うんです!

ごめん
あそばせ…っ!

…





私に分かるのは

戸佐さんがずっと
逃げずに頑張
っていたおかげで

こうして
会えたから

嬉しいなって
ことだけ



私は…

…戸佐さんより
ずっと異物だし

なんで蘭子が
あんなに頑張れるのか
分からない…



なんだか…
一人じゃないって
思えたんだ

私も
がんばろう…って

……

こんなに
人と話したの
久しぶり…



：私のレオタード
持ってくるね
予備あるから

お嬢様学校指定の
白タイツが軟弱すぎて
ボツキチンポが
突き破っちゃった



小糸色さ…っ

お願い…!
大人しくして…!

私…っ
蘭子として…っ

隠し通さなきゃ
いけないの…!



んやあ…

アロ



でい…
ですよ…



それ…
そのままじゃ
困りますよね



どうしよう
どうしよう

なんて言えば…

…この切り方
なんなの?

なにもこんな
いやらしく
いじめなくても…

…腰前に
出したら臍内
挿入っちゃう…っ

女の子の…おまんこっ
やわらかっ…
チンポでキスしちゃってる…

プニユプニユ
してエッチすぎる…

じゃなくて…っ

オシ

オシ



生おまんこっっ♡

おまんこハメ♡
すごっ♡
夢にまで見た
生おまんこっ♡

気持ちいいっ♡
一個一個の肉ヒダが
ぎゅうぎゅうに
まとわりついてっ♡

愛しいっ♡
滅茶苦茶に
したいっ♡

おまんこ肉
磨いて
ピカピカに
したいっ♡♡

おまんこ肉
おまんこ肉
おまんこ肉

女の子が私のチンポ
受け入れてくれるって
分かった瞬間、

頭パーに
なっちゃった…♡

こんな多幸福感…
狂っちゃう…♡

脳ミソから
我慢汁でてるっ…♡

うれしい…♡
愛しい…♡
かわいい…♡
好きっ…♡

ぜったい
孕ませる♡



射精すっ♡
精子ドピユるっ♡♡♡
卵子囲んで
レイプするっ♡♡

だいすきっ♡
孕んで♡♡
私だけのオナホに
なって♡♡♡

んおろろっ♡♡♡
ザーメンドピユるっ♡♡♡

思いつき腰振りながら
無防備おマンコ穴に
びゅるびゅる
排泄すんのきもちっ♡♡♡

射精すっ♡
精子ドピユるっ♡

おろろっ♡
おろろっ♡

おろろっ♡
おろろっ♡





人生で一番
射精長い...♡
幸せ...♡

あつ...♡
子宮ぎゆうぎゆうに
抱きしめてきて
チンポ抜けない...♡

あつ...♡
子宮ぎゆうぎゆうに
抱きしめてきて
チンポ抜けない...♡

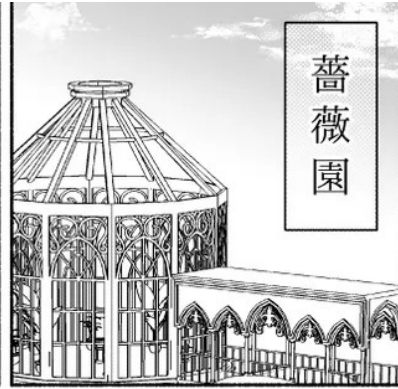


おまんこから
射精してるみたい...♡



ごめんね...
もう一回だけ...♡

気絶
しちゃった...♡





最近蘭子お姉様
なんだか変わられたわ

以前も
気高く凛々しく
お美しくくて
素敵だったけど

今は雰囲気
柔らかくって...

わたくしなんて
タイが曲がっているの
直していただいて...

施設出身の子にも
分け隔てなく
接して...素敵...

いびく



学習室

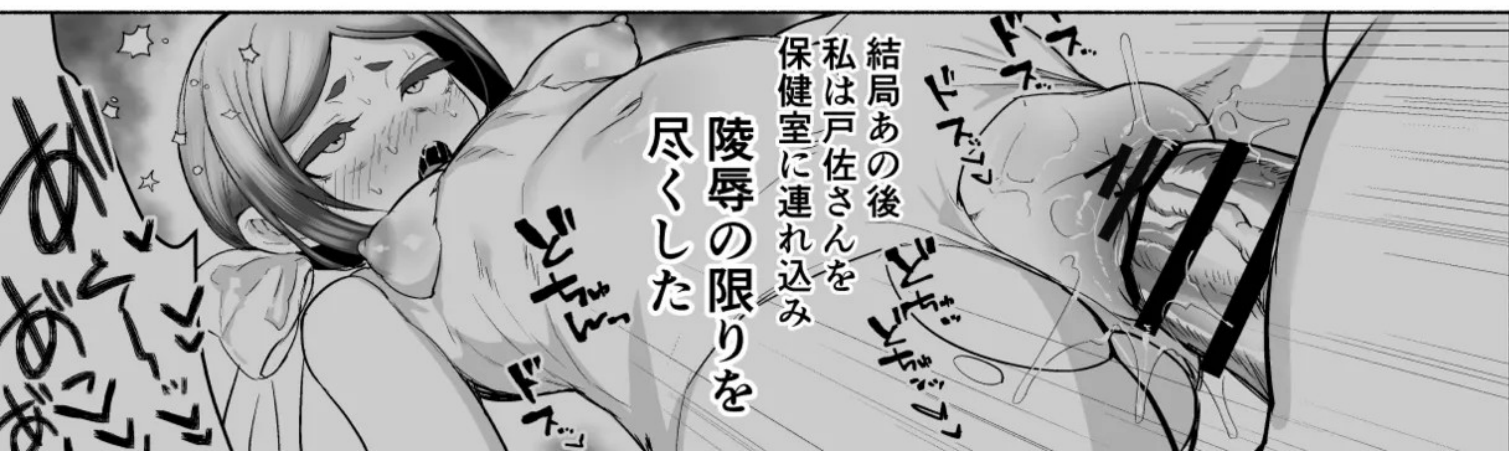
実際には

私が戸佐さんに
面倒見てもらってる
だけなんだけど...

そこは
まず式を

うんっ

かっ
っ...



結局あの後
私は戸佐さんを
保健室に連れ込み
陵辱の限りを
尽くした

ドクドク
ズンズン

お
お
お



あなたも
誰でも
構いません

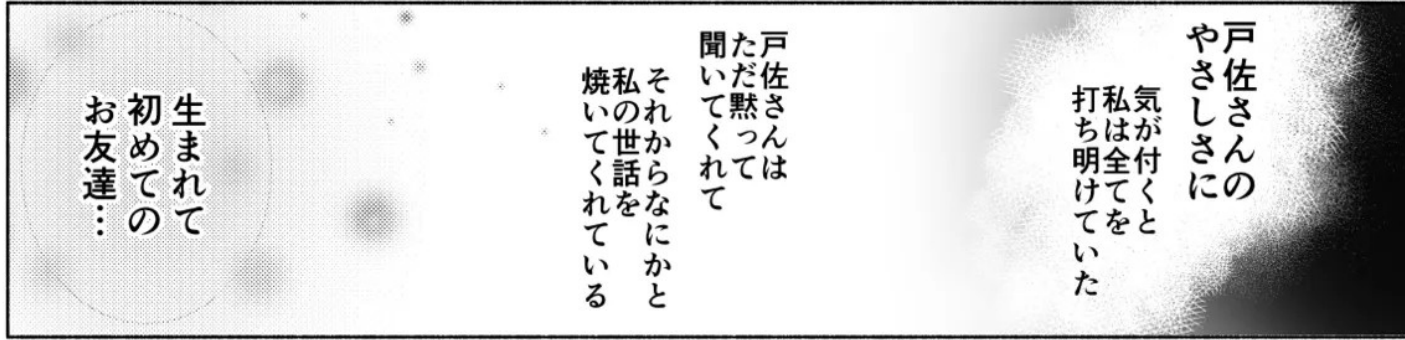


私…
小糸色蘭子より
あなたの方が
好きです



ん…別に…
怒ってないです
……

ごめんなさい…
ごめんなさい…
……



戸佐さんの
やさしさに

気が付くと
私は全てを
打ち明けていた

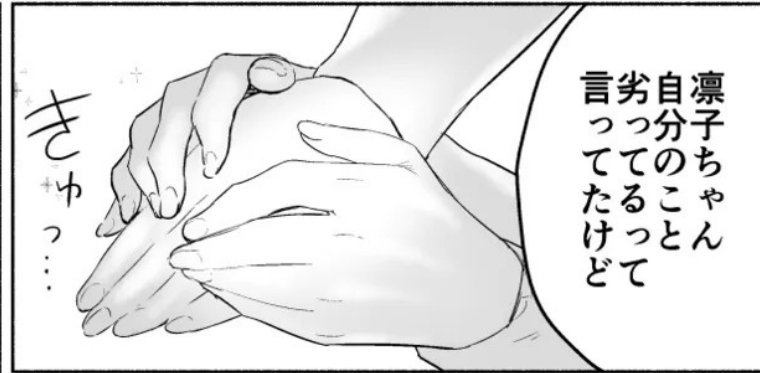
戸佐さんは
ただ黙って
聞いてくれて

それからなにかと
私の世話を
焼いてくれている

生まれて
初めての
お友達…



戸佐さん…



凛子ちゃん
自分のこと
劣ってるって
言ってるけど

きゅっ…



ありがとう…



そんなことはないです
覚え…早い…

成績もすごく
上がってる…

教えるの…
楽しいです



光乃院さん…

おや

随分
仲良しなんだね

お邪魔して
しまったかな?



白百合ちゃん
たち…♪

僕も仲間に
入れておくれよ

んっ…

んっ…





賢く美しく
傲慢で
目障りな女さ……!

落ち目の家の分際で……
あの見下した態度……



はっ
よく知ってるとも



……っ!
蘭子のこと……
なにか
知ってるの!?



ふふ……しかし
君のご両親は
家の格を保つために
わざわざ学園に
傲慢の娘を送って
ご苦労なことだよねえ

僕たち
本物の名家への
貢物にさあ

しかも
消えたと伝えたら
娘を追加で補充して
きやがった……
くくっ……笑わせるよ



人間きが
悪いね……
消えたんだ
安心しなよ
君は消えない

僕は君をなかなか
気に入ってるんだ



……
蘭子に……
なにかしたの……?



だもつと
仲良くならないと
信頼はできない

僕は案外
用心深いんだ

あーん♥
胸おっきい…♥

ブラのサイズが
合ってませんわ…
凜子お姉さま…♥

蘭子お姉さまより
大きいのでなくて?

綺麗な
朱鷺色…♥

大きい乳輪…♥
いやらしいですわ♥

キメこまかくて
指が無限に
沈み込んじゃう…♥

それにシミひとつ
ありませんわ…♥
インドア派?



…!!
凜子ちゃんに
ひどいこと
しないで…!!

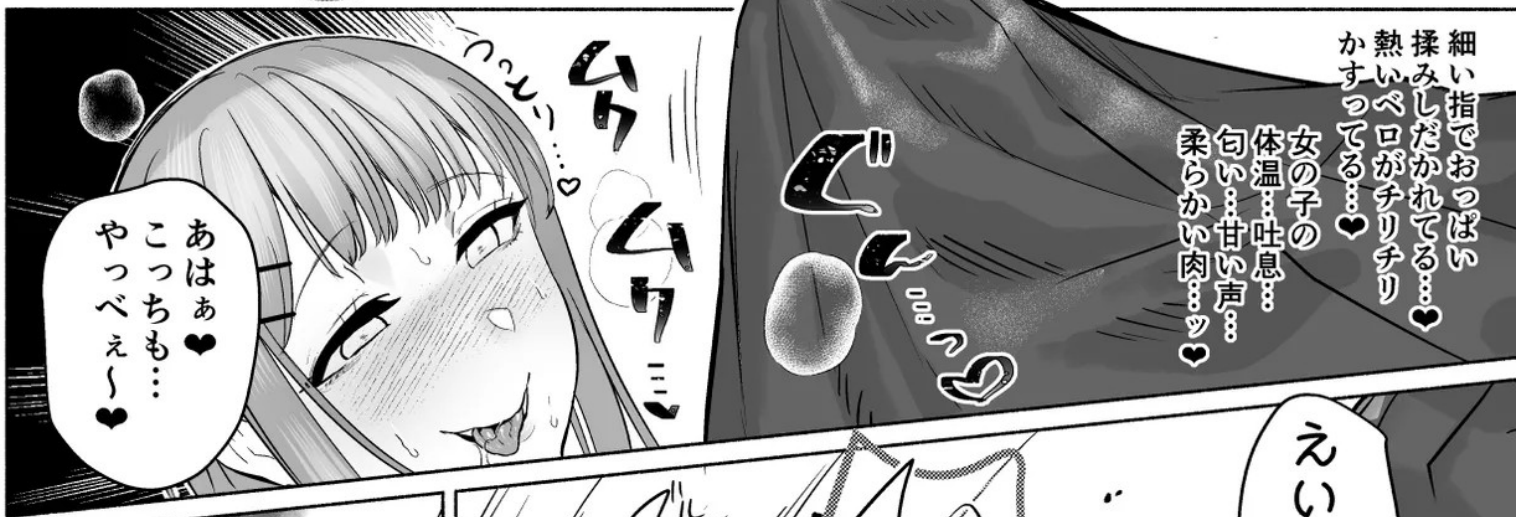
イイコトさ!



ああん♡
指一本触れて
ないのに♡
エロ乳首
すっごい勃起い♡

はやく♡
いじめてえ♡
おチンポみたいに
ボッキしちゃって
ますわ♡

エロお♡
ムクムク
グググ



細い指でおっぱい
揉みしだかれてる...♡
熱いペロがチリチリ
かすってる...♡
女の子の
体温...吐息...
匂い...甘い声...
柔らかい肉...♡

あはあ♡
こっちも...
やっべえ♡



えいっ♡

おチンポの
おチンポ♡

君には
親近感が
沸くよ

やっぱりね



女の子のお口...っ♡
すっぽんみために
吸い付いて...っ♡

スッポ...っ♡

熱いお口の中で
ペロが容赦なく
這い回ってるよお...♡

同時にちゅばちゅば
チンポ裏吸われてる...っ♡

いっ♡



うおお...♡は
頭おかしく
なりゆ...♡

チンポ二本もないのになっ♡
こんなことされたら...♡

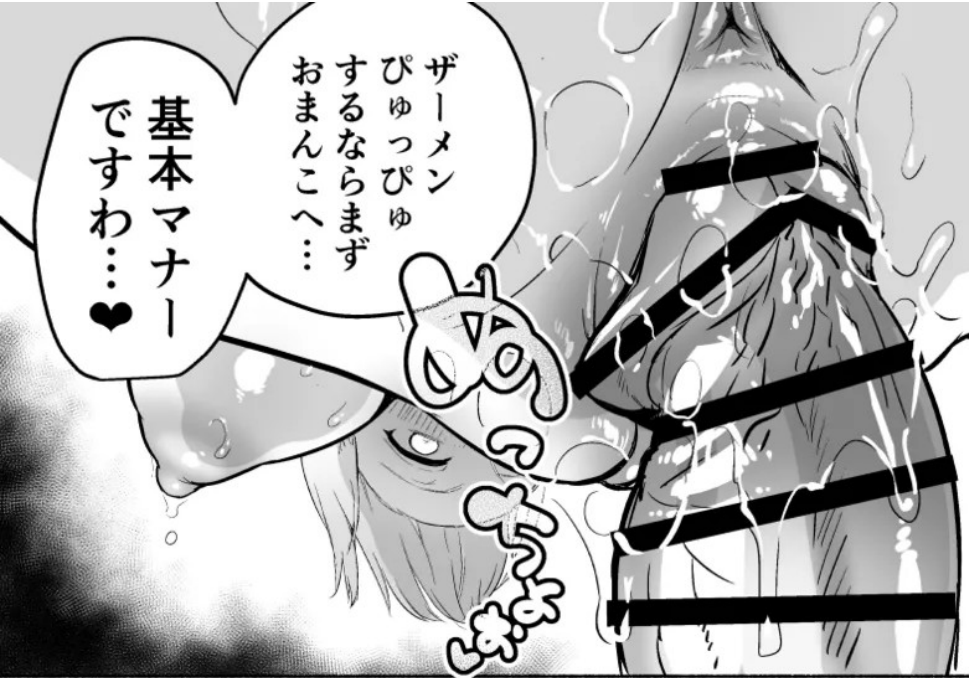
いっ♡

ああ♡
だるめっ♡
ですわ♡

凜子お姉さま？
我慢弱いのじゃなくて？♡

駄犬は私達だけで
十分ですよ♡

おひ...っ♡
そんなあっ♡





いっぐう
ううん♡♡♡



エロおい♡♡
ですわ♡

キンタマのドクドクが
わたくしの赤ちゃん部屋に
ずかずか入ってきてる♡



ぎもぎもがいーん♡
ん...♡



ザーメン大量に
きたあ♡♡♡

子宮あつっ♡♡
卵子がお嬢様精子に
輪姦されてる...♡

イック♡♡♡
やっぱチンポ
最ッ高♡♡

女の子に
犯されて...

イクの
気持ちいい...

まだみつともなく
腰振っちゃう...

おまんこに
逆らえない...

ほらほらあ
順番っ

もうマンコ
ムラつきすぎて
キレそうですわ

もっとチンポ
ボッキさせて
くださいませ

ボッキ
勃起イ



ヤニヤニ

イク...
イクっ
イクツツ

イクツツ
イクツツ

このチンポ
ぶっとお

はやくお精子
出してっ

オラ
きもちよく
してくださるおまんこに
お背中パイズリですわ









おっと

カッパ



グッ
バツ

ほよっ



うん...

もう頭空っぽだと
思ったのに...

頑張り屋さんだね
やっぱり君は
見所ある子だ

カッパ

もこ

カッパ

カッパ

カッパ

カッパ

美しい
友情って
やつかな...?

違う—

そんな綺麗な理由じゃない

私のメスと戸佐さんと交尾させてなるものかと



男根
本能が勝手に身体を動かしていた

ずっと怖くて逃げてた衝動

こんなにもまっすぐに

勃起して訴えかけていたのに



あの時も



あの時も



犯せばよかつた

怖気づいて欲しいものに手を伸ばしもしなかつた



あの時も

もう逃げない
何も手放さない

キンタマ
身体の奥から
湧き上がる…

両親
障害も
煽る炎も

ライバル
敵対雄も

犯し尽くせと

メスに
排除すべく

なっ…

まさか

この僕を
犯す気が…!?

よくもまあ
まだ勃起する…

お前たち
遊んでないで
彼女を大人しく
させるんだッ

楽しむのは
その後!



光乃院鈴蘭
彼女を
犯すから

邪魔しないで...

.....



いいですわねえ♥

ご主人様
凜子様に
乗り換えますわ♥

チンポが鈴蘭様のより
好みなんですの♥

わたくしも
鈴蘭様のこと
レイプしたあ〜い♥

ガッ

えっ

ガッ

ガッ

ガッ

だっ

だっ

たり

たり



わたくし達もう
脳みそがマンコに
移動してますの♥

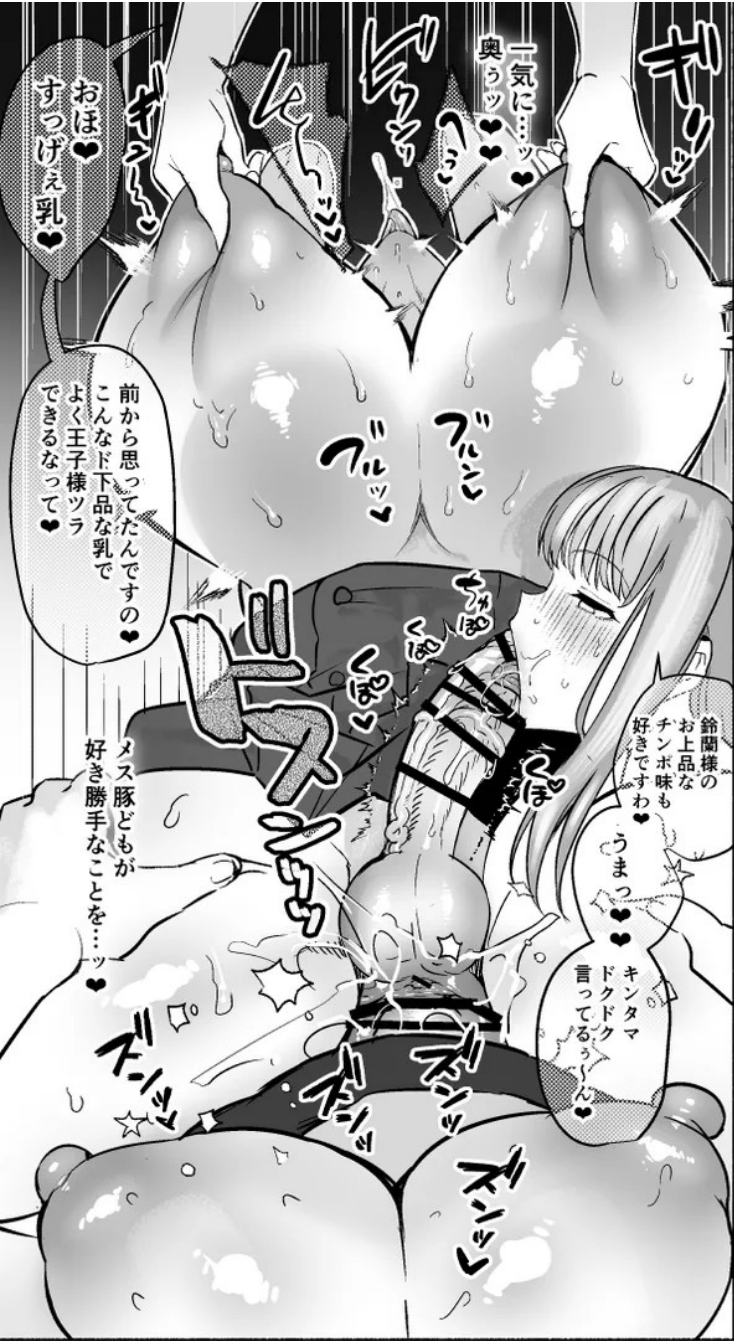
クソつまらない
禁欲お嬢様人生は
もうまっぴらですわ♥

マンコで
ぜえくんぶ
決めちゃう♥

鈴蘭様が
教えてくれた
生き方ですわ♥

それは...
そうだけど...!!

んぐっ...



おほ♥
すっげえ乳♥

前から思ってたんですの♥
こんな下品な乳で
よく王子様ツラ
できるなって♥

メス豚どもが
好き勝手なことを…♥

一気に…♥
奥うっ♥

鈴蘭様の
お上品な
チンポ味も
好きですわ♥

うまつ♥
キンタマ
ドクドク
言ってるう〜♥



熱…ツ
苦し…ツ

こんな…っ
たかだか
チンポごとき…っ

まるで熱した
鉄の塊…♥
マンコが灼ける…♥

まだあんなに
身体が離れているのに…ツ

あんまり触らせて
くれなかつたのは
ウブだったから
ですね♥

えっ
マジで生娘!?
かわいいですわ〜♥



カチン
カチン

カチン
カチン

こんな
イキ方
したら
戻れなく
なる…♥

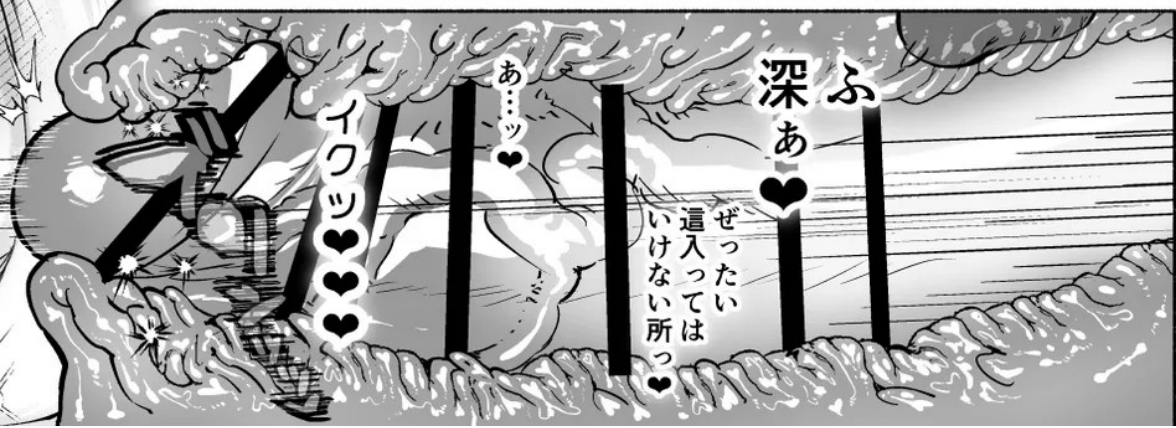


恥骨直下が
前立腺が
すり下ろ
されている♥

ポルチオ
子宮口…♥

まるで
サンドバッグ
みたい…♥

不眠にい♥
この僕を
誰だと…♥



深あ♥
ぜったい
這入っては
いけない所っ♥

あ…♥

イコッ♥♥♥

大切なものは
渡さない...

チンポ...

メスを
横取りされない
ために

僕を逆に
メス扱いッ...?

どうか
している...ッ
身勝手な
オスの
マウント...

おどおどした
童貞臭い乙女
だったのに...

この僕が...

オスのマウンティングで...

悦んでいる負け犬!?!

キス...

やめろッ
ただメス
唯雌のよう
に
準備をするなッ

ち
かつよ...

持ち上げられて
いる...

体重全部
チンポにかかって...
奥う♡追い詰められて
逃げられない...

どこで
覚えたんだこんな
ケダモノじみた...

媚びて愛液を
次々分泌しながら
膣肉痙攣させて...

チンポを抱きしめてる...
心より先に身体が
降伏している...

負けている...?

この女に
オスとして...?





偽物にすら
勝てないのか...



このながあいエロ乳で
おチンポ慰めて
さしあげますから...

何が慰めるだ...
僕の胸じゃないか...

クソ...
調子に乗った
メス共にすら

いいように
弄ばれて
感じてる...

違う違うっ
僕は支配者でっ
お前らとは違う...

能力で劣り
女も奪われ...

僕は...



あはっ

泣かないで
鈴蘭様...





ダメだ…っ
すごいっ♡
きもちいい…♡

ありえない…っ♡
この僕が…♡

アクメする
負ける♡
受け入れる
負けるっ♡

メスになる
負ける…♡♡♡

嫌だ…っ

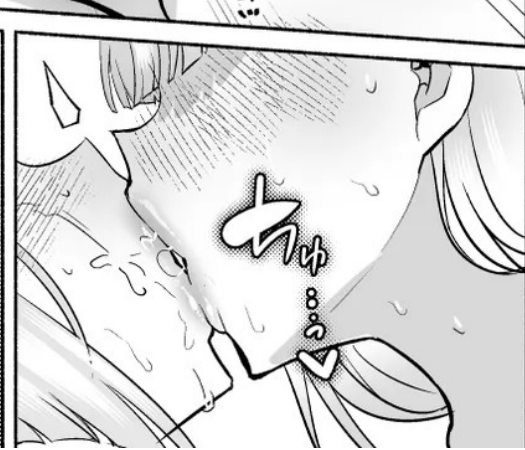
認めたら
今まで
何のために…っ♡



私のメス
しあわせに
するからね…♡



大丈夫…♡





カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

ああ……♡

カ
カ
カ

暖かい…♡

か弱いメスを
愛^{孕ませて}して守^てってくれる
眼差し…

きゅ…♡

私、光乃院さんの
弱いところ
好きだよ

もう
隠さないで

抱えてるもの
全部私に預けて

ね…♡

ザイメン
支配の証…
注ぎ込まれてる…♡

満たされて…安心する…
愛されてる…気持ちいい…♡

たぶ…♡

僕はずっと…
何に執着してたんだ…

支配者
犯す側より
敗
犯される側の方が
ずっと
きもちいい♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

きもちいい♡



：僕が地位に
執着していたのは

虚栄心のため
だけじゃない

高貴な家柄かつ
求心力のある者は

気に入った
出荷用の生徒を
貰えるんだよ

この学院では
家柄の低い生徒は

超名門学校の令嬢
ブランド家畜
嫁入り
として出荷される

色々な需要に応じて…

小糸色蘭子は
本来出荷される
生徒じゃなかった…

落ち目の家だが
彼女の優秀さで
持ち直していたからね

優秀すぎた
…ってとこかな

学院の内情を
暴露しようと
するとはね…

またとない機会だ
特例で彼女を貰えないかと
理事会にかけあったよ

あの高慢ちきな
ワレメに押し入ってやろう
…と思ってた

僕の玩具に
使いつぶすには
もったいないって

小糸色蘭子は
貰えなかった

彼女の処遇は
理事会で決まった
出荷でも逃亡でもなく

消された

だから悪いけど
僕も蘭子君の
居場所は
知らない

わたくしたち
出荷用でしたの〜!?

あと

聞いたからには
お前たちもすぐ
この学院からは
去った方がいい

自分から話しといて!

凜子君
君もね

：私
蘭子が戻るまでは
学院に残るよ

そうだね…
嫌われてた

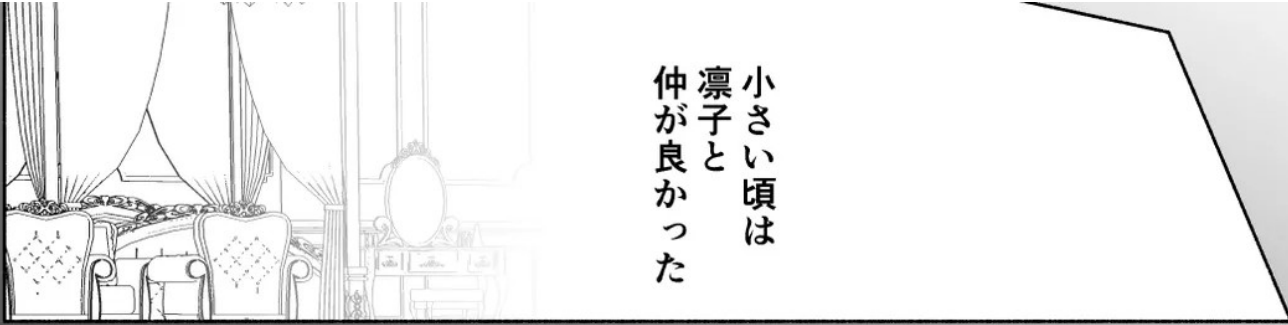
ふうん?

なかよし姉妹って
ワケじゃないんだろう?

：だから
ずっと
逃げてた

でも本当は私
蘭子と仲良く
なりたかった

もう
諦めないよ



小さい頃は
凜子と
仲が良かった



高熱が出て
パパもママも
忙しくて

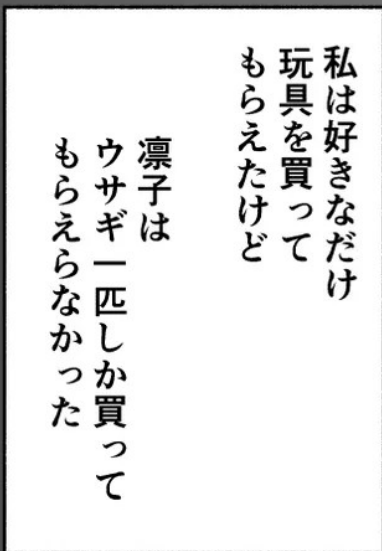
苦しくて
寂しくて…



うさちゃん



凜子にあげる！



私は好きなだけ
玩具を買って
もらえたけど

凜子は
ウサギ一匹しか買って
もらえらなかった



なんで私に
譲るの…？

バカなやつ…

泣かないで…



凜子と一緒に
いるからね



凜子は療養してるのよ！
ちよっかいかけないで！



やめてっ！
凜子のために
きてくれたの…！



凜子は
優しい子ね…

ウチの子が
あなただけなら
良かったのに…

だ、ダメだ…
コイツ…！

なんでそこから
出てこないの

一緒にいるって
言ったのに

アタシ……

うそつき……

学校……？
私はいいよ……

も……

その根暗な部屋を
徹底的に照らして

アタシができることは
アンタもできるのに

引き摺り
出してやる

一緒なんだから
アタシたち



小糸色さんは
我が校でも
目を見張るような
優秀さですね

替えの効かない
存在ですよ
卒業後も各界が……

ぜひウチにも
小糸色さんのような……

いる……いるわ……一人だけ
アタシの代わりに
なれる人間が……

ねえ鈴蘭

公表したら
どうなっちゃうのかしら……
この学院……終わっちゃう？

黙ってないで
なにか言ったら？

……

この学院出身者って
行方不明者が多いのね……

哀れね……

あなたの居場所
もうどこにも
ないんじゃない？

私が……消えたら

.....!

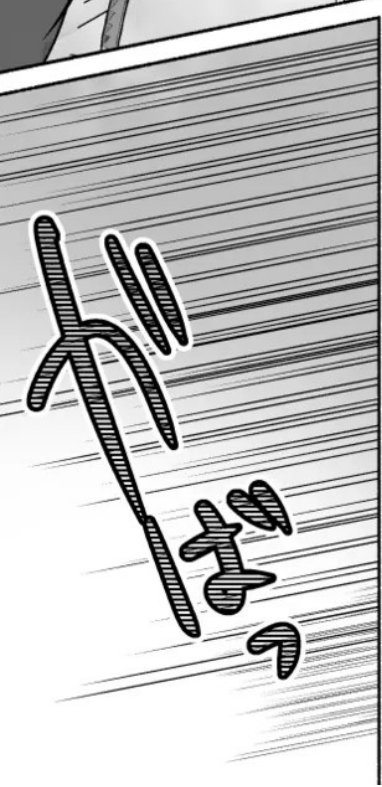
蘭子……

蘭子……!





凜子…？



外は他のメスどもが
張ってますわ♥

急いで…
あと10分は
安全ですけど

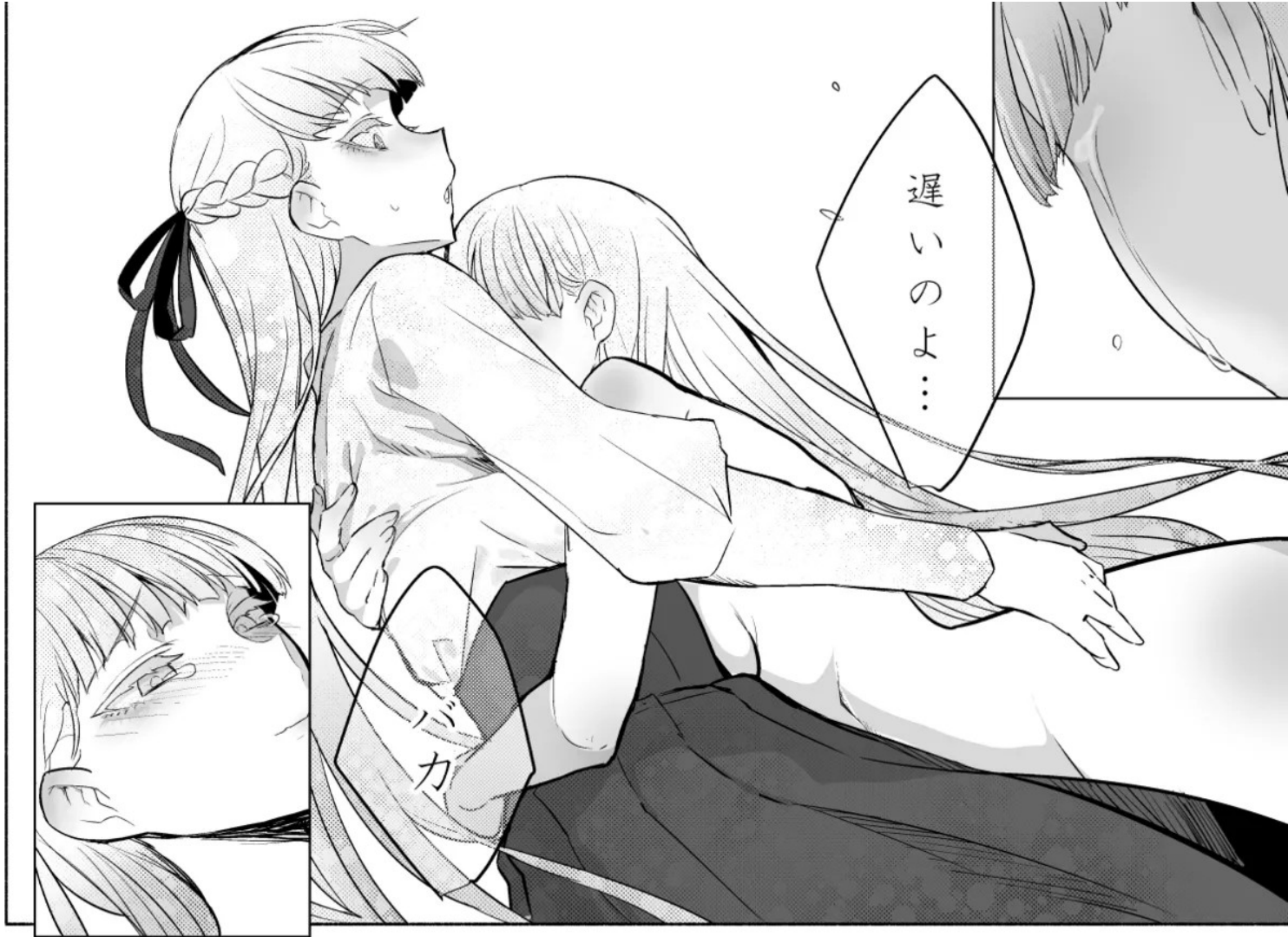
仲良くなった
みんなに
力を借りて

迎えに
きたんだ…！

地下にこんな施設
あったとは…

はく製にでもする
つもりだったのか？





遅いのよ...

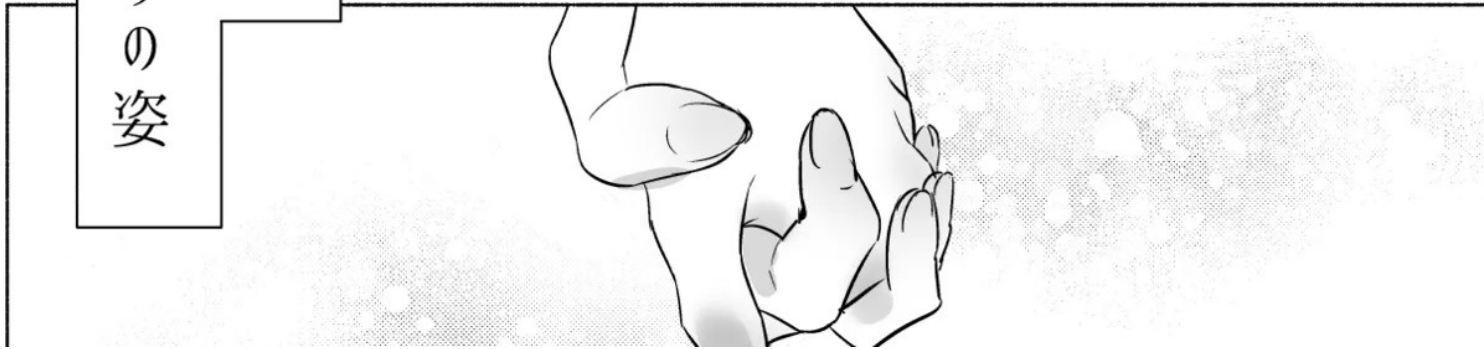
カ



名門女学院
聖二星七璃学院

穢れなき乙女たちの
花園とは

偽りの姿



偽りだらけの
少女たちは

最も高い位置に咲く花
ふたなりの少女を戴く

聖ふたなり学院の
インポスター



小糸色 蘭子 (こいとしまき らんこ)

- ・非ふたなり
- ・体形は凜子とほぼ同じ
- ・だが少しだけ胸が小さい

幼少期にぬいぐるみを譲られただけで
凜子を愛してしまった
極端で不器用で努力家な少女
他人、特に大人を信頼できず
表面上は他人と親交を深められるが
本当に友達といえる存在はいない
学院での人気トップである
光乃院鈴蘭と親密な仲なのでは？と
女子校特有の噂をされていたが
実際は殺伐とした関係
戸佐みずきには畏怖されていたが
実は蘭子は少し好感を持っていた
(小柄さと逆境にめげない点を
気に入っていた)



【学院のきまり】

ソックス、タイツは無地が好ましい
靴は指定のストラップシューズがアーツ

小糸色 凜子 (こいとしまき りんこ)

- ・身長165cm
- ・Gカップ
- ・チンポおおきい

両親による差別と
蘭子の努力が裏目に出た結果
卑屈に育ち無力感に苛まれる
自分には誰も期待していないと考え
何もせず引きこもってシヨリまくっていた
実際は蘭子の言う通り
努力すれば同じ結果を残せる
相棒(チンポのこと)を抑圧していたが
最近解放し、自信を取り戻し…過ぎて
超自己中のクソヤリチンになっている
基本的に温厚な性格だが
一回ハメたメスは自分のものだと思ってるし
絶対ゆるらない



十
ヤ
ラ
ク
タ
リ
紹
介

光乃院 鈴蘭

(ひかりのいん すずらん)

- ・身長173cm
- ・Bカップ
- ・ちんぽが白い

ビジュアルと家柄を鼻にかけ
プライドが高く、王子様気取り
だが全身が弱い
(故に相手を先に支配したがる傾向にある)
実際能力は全体的に高いが
言ってしまうと蘭子の下位互換
(胸と尻と身長の数値は勝ってる)
かなりの名家の生まれだが
ふたなり故に学園に押し込められ
せめて学院で頂点に立ち
周囲を見返したいと思っている

戸佐 みずき (とさ みずき)

- ・身長145cm
- ・Bカップ
- ・非ふたなり

学院運営の孤児院出身
学科の成績による特待生だが
蘭子に首位を奪われ
ただでさえよくなかった
学内での扱いが悪化した

蘭子に対しては
上品な外面と苛烈な内面との
差を感じ取り畏怖の念を抱く
人生で凜子のようなタイプと
接したことがなかったせいか
猛烈に懐いている

あまり栄養状態がよくなく
同年代の中では発育が悪い

【学校のまわり】
冬は指定の黒いロカ
コートを着用



【学院のまわり】
カーディガンは
無地を着用



あとがき

こんにちは、この本を手にとっていただき本当にありがとうございます♡

お嬢様学校ものが大好きなのでとても楽しかったのですが、好きすぎて尺が足りず
今まで出したエロ同人で一番ページ数が多いのですが
それでもちょっと打ち切りみたいになってしまって ちよつと無念

本当は凜子と蘭子のエロシーンも描きたかったけど
マジで締め切りがヤバいので泣く泣くカット
没にしたキャラとかもいるので
なんかの折を見て色々描きたいです

出したキャラみんなお気に入りです
皆様にも誰か気に入っていただけたり、楽しんでいただけたら嬉しいです

また読んでもらえるように頑張ります
読んでくださった皆様のご健康でありますように♡

みなさま ありがとうございます
まけた♡

聖
ふた
なり
女
学
院
の
イ
ン
ポ
ス
タ
ー

発行日 2025/5/4
発行者 油鍋式/puru
Twitter <https://twitter.com/puru0623>
Lit. link <https://lit.link/puru0623>
連絡先 aburanabeshiki@gmail.com
印刷所 大陽出版株

むく諸様 (@mukuimo_h8)
ulo様 (@ulohoho_n)
の巣様 (@works_ogw)
むりかもめ様 (@murimurikamome)
お手伝いいただき
本当にありがとうございました!!!!

禁 無断転載
Do not repost to other sites.
禁 AI学習使用
Do not AI Learning.

油 鍋 式

2025.5.5.4

